

# 高潮対策

新川・東川統合排水機場は、高潮時の浸水被害を解消するため、老朽化した2つの排水機場を1つに統合して、排水能力を60m<sup>3</sup>/sから111m<sup>3</sup>/sと約2倍に増強します。

高潮発生時の確率降雨1/50を排出できるポンプ能力に増強し、浸水被害を解消します。



凡例  
 高潮対策により解消される浸水面積 (168ha)

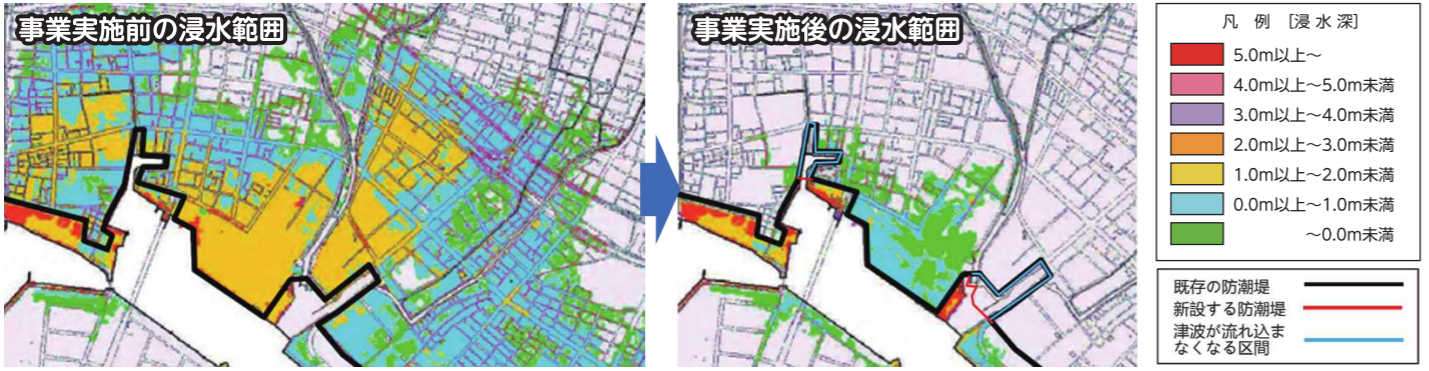
# 津波対策

想定される最大クラスの津波(レベル2津波)が流れ込む地域を約9割(419ha→37ha)減らします。

事業実施前  
 レベル2の津波が来ると、419haが浸水する予想

約9割を縮減

事業実施後  
 浸水面積が37haまで縮減。人家があるエリアの浸水深が、避難行動を取れる0.3m未満に低減



# 老朽化対策・耐震対策

## 1 老朽化に対する課題

- ①新川排水機場
  - ▶吸水槽内や床面にひび割れや隔離が発生している。
  - ▶管理橋は、海水による腐食が進み、穴あき箇所が発生している。
  - ▶更新耐用年数超過、原動機は経年劣化。
  - ▶電源・制御設備は老朽化が著しい。
- ②東川排水機場
  - ▶建屋の壁面にひび割れが発生。内部に漏水する箇所が発生している。
  - ▶吸水槽内や床面にひび割れや隔離が発生している。
  - ▶主ポンプの劣化が著しい、原動機は経年劣化。

## 2 耐震上の課題

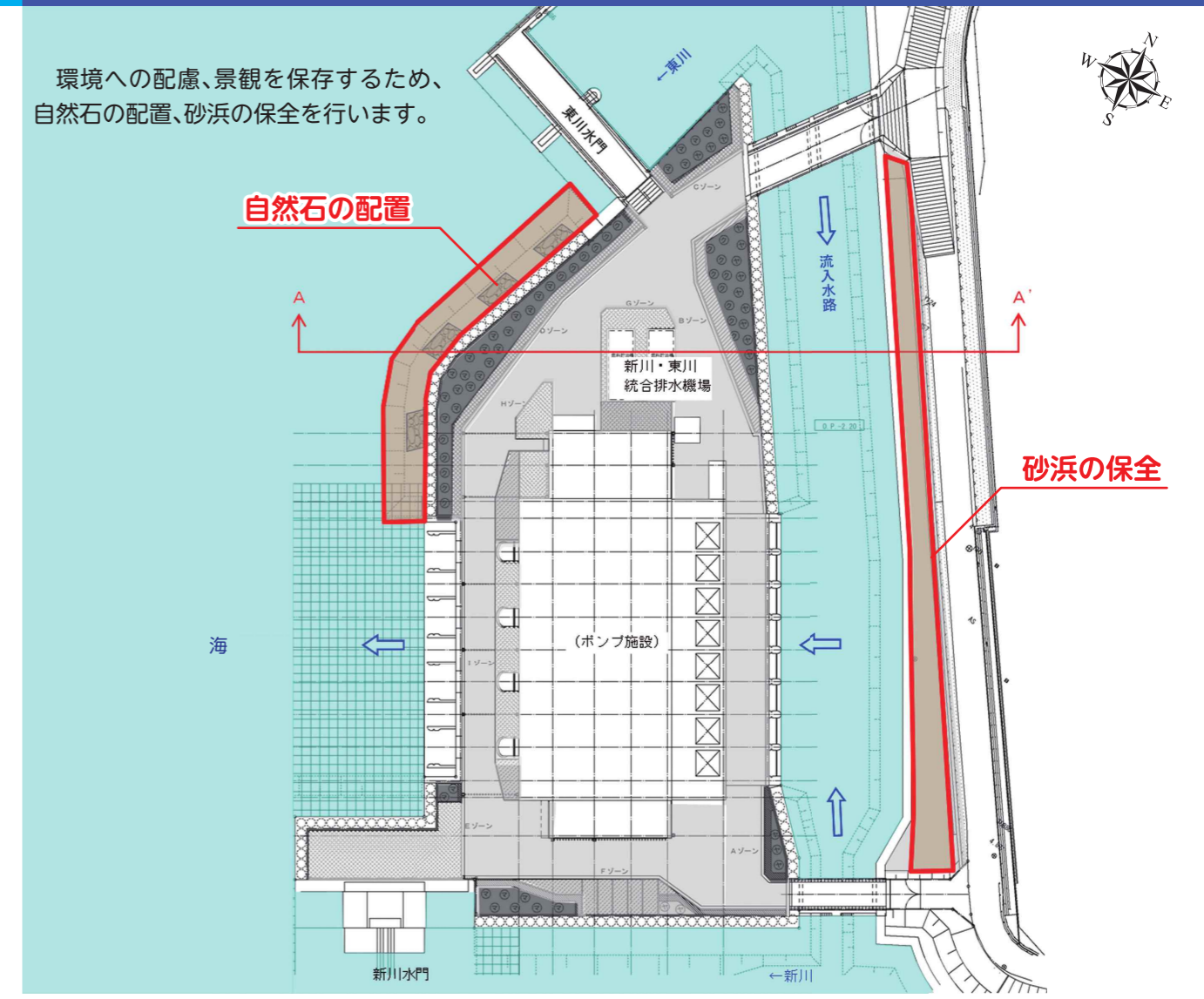
排水機場は大規模地震に対する耐震性能照査の結果、排水機場、水門において、耐力不足と診断。

### 排水機場の老朽化の現状



# 環境への配慮

環境への配慮、景観を保存するため、自然石の配置、砂浜の保全を行います。



## 1 自然石の配置

自然石を海面上に設け、水生生物の生息環境を創出します。



## 2 砂浜の保全

砂浜の砂を移設し、砂浜の環境を残します。

